

福島小だより

学校通信

めざす児童像：よく考え 心やさしい 元気な子
第7号 令和4年9月30日



甘楽町立福島小学校
校長 中島 剛

○深まりゆく秋の気配 ～気持ちの良い季節を迎えます～

「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉のとおり、晴れ渡った青空の下でも涼しい風を感じる季節になりました。正門近くのキンモクセイからは甘いほのかな香りがして、子どもたちを和ませています。保護者の皆様は、いかがお過ごしでしょうか。

明日は運動会です。今日まで子どもたちは一生懸命に練習してきました。ぜひ、子どもたちの英姿をご覧ください。今年は整列の向きを南向き（観覧席側）にしたので、子どもたちの様子をよりよくご覧いただけます。また、3年ぶりに団對抗戦も復活します。悔いの残らぬよう取り組んで、勝っても負けても、頑張ることの大切さを学んでほしいと思います。

そして、来月は修学旅行もあります。準備をしっかりと、集団行動や決まりを守り、たくさん見聞を広めてください。

保護者の皆様には、今後ともご支援、ご協力をお願いいたします。

○PTA環境整備作業 ～学校で気持ちよく過ごすために～

前日までは雨模様の天気でも心配されましたが、雨に降られることもなく、またそれほど暑くもならず、2年ぶりにPTA環境整備作業を開催しました。今回は、屋内班と屋外班の2班に分かれて実施しました。

屋内班は各教室の扇風機の掃除をしました。高い所の作業で大変でしたが、とてもきれいになりました。また、屋外班は駐車場や校庭の樹木の剪定や草むしりを行いました。「学校給食の碑」や「松を見る会」の松の周りもとてもすっきりしました。

ご協力くださった保護者の皆様、ありがとうございました。



○全校集会 ～夢をもち、努力を続けましょう～

今回の全校集会は、キャリア教育の一環として「夢をもとう」をテーマに、2人の方を紹介しました。1人目は、9才でプロ棋士になった小学生の男の子の話。2人目は、芸人とプロ野球選手の二刀流の挑戦を始めた方の話。

プロ棋士になった男の子は、4才半からオセロゲームに夢中になり、持ち前の集中力で囲碁でも力を発揮し、囲碁大会で優勝するなどして、世界最年少でプロ棋士になりました。

二刀流の方は、けがで一度は野球をあきらめましたが、芸人の仕事とトレーニングを両立させ、みごと入団テストに合格して夢を叶えました。その方は、「夢はいつからでも叶えることができる、やればできる!」と、たくさんの人にエールを送っています。

小学生の時から夢になれるものを見つけてください。そして、夢は、幾つになっても持ち続けてほしいと思います。



○避難訓練 ～自分で判断し、自分の身は自分で守ります～

2学期の避難訓練は、富岡警察署スクールサポーターの指導のもと、校舎内への不審者の侵入を想定して行いました。

1年生の教室前の廊下に不審者が侵入した想定で、職員がサスマタを使って取り押さえました。その時、職員はスクールサポーターからサスマタの使い方の指導を受けました。また、子どもたちは、不審者の侵入を防ぐために各教室の入口に机でバリケードを築き、教室内の隅に避難しました。

その後、体育館で不審者の声かけの対応について、スクールサポーターから話がありました。防犯ブザーがきちんと鳴るかを確認しておくことや、「道を教えてほしいから車に乗って」とか「お家の人が入院したから車で送る」とかの声かけへの対応の仕方、ランドセルを掴まれたらどう逃げればよいかなどを学びました。

